『ダンゴムシいた！』　　3歳児　　10月伏見こども園

エピソード

ダンゴムシを探すことが好きだった A くんは、2学期に入り「ダンゴムシいない」と話していました。戸外に出た時には B くんも「ダンゴムシ一緒に探そう」と1学期のようにダンゴムシを見つけたいようでした。保育者と「暑いからいないのかな」と話していました。

10月に入ったある日、廊下で遊んでいた A くんが、いつもダンゴムシを見つけていたオシロイバナの茂みの方を体をかがめてじっと見て、「ダンゴムシいた！」と驚いたように言いました。その声を聞いて「え？どこ？」「ぼくも」と言いながら B くん、C ちゃんもやってきました。A くんは手に持ったダンゴムシを見て「ちっちゃい」と言いました。B くん、C ちゃんも A くんの手の中を見て「うわぁ赤ちゃん」と言いました。そしてまた B くんたちはすぐにダンゴムシを見つけようとオシロイバナの茂みに目を向けます。小さいのですぐには見つけられませんが、じっと目を凝らすとかすかに動くダンゴムシが見て、C ちゃんが「いたよ」と言いました。それを聞いて、B くん「どこ？とって」と言いました。A くんはその後も、小さく身をかがめて集中して地面を見つめながら、ダンゴムシを見つけていました。

飼育ケースを一つ用意すると、手にとっては飼育ケースに入れ夢中でダンゴムシを探していました。以前からダンゴムシの本をみんなで見て、食べる物を知っていた子ども達は、葉っぱやコンクリートのかけらなどを持ってきて、飼育ケースに入れ、手に乗せたりダンゴムシが歩いたり丸まったりする様子を友達と一緒に見ていました。

子どもの育ちや学び

またダンゴムシを見つけたいと、1学期にダンゴムシがいた場所を探し見つける。
（見つけたい・見つけたうれしさ）

ダンゴムシを見つけ手に取りると、いつも見ていたダンゴムシとの大きさの違いに気付いた。
（嬉しさ・比べる・気付いたことを言葉にする）

小さくてすぐには見つけられないけど、じっと目を凝らすと、かすかに動くダンゴムシを見つけられる。
（見つけたい、集中して見る）

・一つの飼育ケースに入ったダンゴムシを友達と一緒に見ている。
・本を見て知っていた知識を生かし、ダンゴムシの食べる物を探して与えた。
（友達と一つの飼育ケースを共有する
知識を生かす）

保育者の思い

・この日は雨が少し降っていたので、戸外には出られませんでした。外で遊びたい気持ちもあり、廊下からダンゴムシが探そうとしたのではと思いました。その様子を見守ろうと思いました。
・探していたダンゴムシが見つかり嬉しい気持ちを十分に味わってほしいと思い、見守りました。手に取って近くで見るからこそ大きさにも気付いたと思いました。
・じっと地面を見つめると、小さなダンゴムシが見つかることを C ちゃん以外の子ども達にも試してほしいと思い、保育者も一緒に地面を見たり、見つけた時の嬉しさを共感したりしました。
・1学期は自分だけのダンゴムシにしたい気持ちが強かった子ども達ですが、一つの飼育ケースを友達と一緒に共有していていたり、本を見てダンゴムシの過ごしやすい環境に整えようとしたりしている姿に成長を感じました。

お家の方へ

ダンゴムシは子ども達の身近にいて、見つけやすくたくさんの子どもたちが興味をもっています。丸まったり歩いたり、大きさの違いにも気付いたりして面白さを感じているようです。ぜひ、一緒に見つけてみてください。